



## 森川伸治新会長誕生!

副会長に 藤川前経理部長、長谷川前広報部長



就任挨拶をする森川新会長

5月25日(日)、東区のウィルあいちで定時総会が行われ、森川伸治前副会長(大曾根)が新会長に選出された。

午後2時52分、選挙管理委員会の運営のもと、理事候補者及び監事候補者選出選挙が開始された。理事の立候補者は12名、監事の立候補者は2名で、前者は8名から11名、後者は2名以内を、有効投票の過半数を得票した候補者の中から得票順に定数内で選出される。支部ごとに投票を行ない、期日前投票分とともに即日開票した。

その結果、以下の10役員が選出され、渡辺孝也選挙管理委員長の当選者発表のあと、臨時理事会が開催された。役員満場一致で森川前副会長が新会長に選出、承認され、全会員の前で発表された。なお、副会長に藤川和秀前経理部長と長谷川貴一前広報部長が選出された。

森川会長は就任挨拶で、「業界の厳しい状況のなか佐久間会長が11年かけて築いてきた組織を継承し、新理事8名と新監事2名の10名で公益社団として恥ずかしくない運営をしていく」と抱負を語り、会員に理解と協力を求めた。

今回、佐久間会長が事前に勇退を表明し、柳田副会長ら3名の理事も高齢をおもな理由に立候補を見合わせた。そのため、本会の舵取り役がスムーズに新会長や新役員に引き継がれることになった。



藤川新副会長



長谷川新副会長

### 選挙結果(届出順)

有効投票数 713票 過半数 357票

理事候補者				監事候補者			
当	得票数	得票数	得票数	当	得票数	得票数	得票数
当	算 芳幸	岡崎	403	当	春日井和幸	大曾根	413
	河合修宏	熱田	316		室谷 勉	半田	325
当	長谷川貴一	熱田	449	当	竹上 勝	笠寺	322
当	堀 孝利	岡崎	519	当	森川伸治	大曾根	554
	田中俊彦	中村	266				
当	早川岩雄	刈谷	391	当	内田光昭	一宮	542
当	藤川和秀	豊橋	436	当	金田圭一	鶴舞	401
当	小林弘治	大曾根	371				

11年間の長きにわたり本会を牽引してきた佐久間会長と、勇退する3名の理事と1名の監事には、今までの多大な尽力に感謝するとともに、森川新会長とそれを支える役員に活躍を期待する多くの会員の声が聞かれる。



選挙管理委員と補助員が開票



県下9奉仕団より58名が参加し、3ヶ所に分かれて紙マスク入りのパンフレットを歩行者の方に配布しました。概ね好意的に受け取っていただき、予定時間より早く終了する事が出来ました。我々も特殊奉仕団として、いざという時のための準備を怠らず、県民の皆様の少しでも役に立てるよう頑張っていました。

### 赤十字運動 月間キャンペーンに参加 (事業部 河合一弘)

毎年5月の赤十字運動月間には各地で様々なイベント・キャンペーンが行われます。今回は10日(土)に名古屋駅周辺で行われたキャンペーンに特殊奉仕団として参加しました。目的は、一般市民の方に赤十字の活動を知ってもらい、赤十字の活動意義や存在価値の理解者を増やすためのPRをすることです。

定時総会はウィルあいちの4階ホールで、午後1時30分より296名の会員(委任状提出者412名・計708名)が出席して行われた。総務部の山本正大・佐藤敏樹両部員の司会進行のもと、物故者への黙祷、新入会員の紹介に続き、議長に木村雅克会員(一宮)、副議長に竹上 勝会員(笠寺)が指名され、8議案が審議された



### 公益社団法人第2章へ

定時総会・共済会総会



- (1) 平成25年度事業報告の件
- (2) 平成25年度事業報告の附属明細書の件
- (3) 第1号議案 平成25年度貸借対照表承認の件
- (4) 第2号議案 平成25年度正味財産増減計算書承認の件
- (5) 第3号議案 平成25年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書承認の件
- (6) 第4号議案 平成25年度財産目録承認の件
- (7) 監査報告
- (8) 第5号議案 新役員候補者選任の件

公益社団法人に移行してから2回目の決算総会も、事業実施状況・経理状況ともに健全な内容であり、議案はすべて賛成多数で承認された。新役員も決まり、新しい体制による公益社団法人第2章が始まる。公益法人としての存在意義を高め、逆風の業界で巻き返しを図るために、執行部・会員ともども新たな気持ちで頑張っていかなければならない。

午後5時30分からは愛知県接骨師会共済会決算総会が行われ、木村議長・竹上副議長の進行により、平成25年度事業報告・収支決算書、平成26年度事業計画書(案)・収支予算書(案)など、6議案が可決承認された。

### ボウリングナショナルチーム救護・ケア

(報告者 事業部長 小林弘治)

5月2日(金)から6日(火)まで、公益財団法人全日本ボウリング協会、平成26年度全日本ナショナルチームメンバーの強化合宿が鈴鹿グランドボウルで行われ、5月3日・4日の二日間、本会会員が男女36名の選手の救護・ケアを行なった。



これは本会が日頃お世話になっている中京大学・北川 薫学長が全日本ボウリング協会副会長ということで、北川学長から本会への救護・ケア要員の派遣要請を受けて実施された。

小林事業部長・井上事業部員・小野文行(笠寺)とボランティア参加の押谷昌之(大曾根)の4会員が現地へ赴き、馴染みのないボウリング競技で、しかも合宿に参加した選手が全日本クラスという初めての対応に非常に緊張して活動にあたった。

選手や役員、コーチ陣も初めての柔道整復師の受け入れに、最初は不安な様子だったが、愛整会の看板を背負って頑張った会員の姿に、非常に喜び好感触を持ってもらったようだ。

一流の競技選手ということで、急性・亜急性の軟部組織損傷があっても練習と試合に明け暮れ、十分な処置ができずに放置されているケースが多かったようだ。今回そのような損傷部位の施術や日常生活指導などを行なうことができ、意義深い活動ができた。

### Welcome!! 新入会員

氏名	生年月日	支部
松本健太郎	S57.5.20	鶴舞
出身校	段位	趣味
東京医学柔整	三段	英語



家族と奈良公園にて